



SDGs 普及推進のための 県民円卓会議

だれ一人取り残さない社会を沖縄からつくるために
必要な取り組みとは？

実施報告書

日 時： 2019年9月28日(土) 13:00-15:40
場 所： 沖縄県立図書館 3F ホール（那覇市泉崎1丁目20番1号カフーナ旭橋A街区内）
主 催： 万国津梁会議設置等支援業務スタートチーム

ACTIVITY REPORT

【報告】SDGs 普及推進のための県民円卓会議



- 日 時：2019年9月28日(土) 13:00-15:40
- 場 所：沖縄県立図書館 3F ホール
- 着席者数：8名（論点提供者、司会、記録者含む）
- 来場者数：44名（行政、企業、NPO・市民団体等）
- 主 催：万国津梁会議設置等支援業務スタートチーム
- お問合せ：公益財団法人みらいファンド沖縄

論点提供

島袋 純 氏 (SDGsに関する万国津梁会議 委員長)

だれ一人取り残さない社会を沖縄からつくるために
必要な取り組みとは？

センターメンバー



島袋 純
SDGsに関する
万国津梁会議
委員長



平良 秀春
沖縄県企画部
企画調整課
調整・北部振興班
班長



島 洋子
琉球新報社
編集局次長 兼
報道本部長



當山 香織
恩納村役場
企画課 企画係
係長



佐野 景子
JICA 沖縄
所長



島袋 夏子
琉球朝日放送
ニュースデスク

➤ 円卓会議に参加いただいた皆さんから

事実の提供

- SDGs（持続可能な開発目標）とは、国際連合の総会で採択された 17 の目標と 169 のターゲットである
- 沖縄県庁では、県知事のリーダーシップの下に全庁的に SDGs に取り組んでいる
- 県民一人あたりの所得は、まだ全国最下位である
- 琉球新報では「子どもの貧困」について連載を組んだところ、沖縄の社会は新聞に掲載された厳しい子ども達の事を、我が事として考えることができる人が沢山いると気付いた。そこで、りゅうちゃん募金（返済不要の奨学金）を作った
- 自分では SDGs を意識していなくても、SDGs に当てはまる活動、世界的にも価値がある活動をしている県民が沢山いる
- 米軍が駐留している多くの国々では、沖縄と同じように土壌が汚染されている
- 恩納村では、15~20 年前から企業の皆さんがサンゴを守る活動を行っており、民間の取り組みを恩納村としても後押しするために「サンゴの村宣言」を始めた
- SDGs に則った社会貢献をしたいと言う企業がある
- 電通の発表（2019 年 4 月）によると、国内の認知度（SDGs の言葉を知っているか？）は 16%
- 「サンゴの村宣言」は、村民の方々にも意識してもらい、観光リゾート地として、自然環境を守っていく取り組みである
- 「サンゴの村宣言」は SDGs そのものであると周りの方から後押しを受け、SDGs 未来都市（内閣府事業）にエントリーして、30 都市の中の一つに選ばれた。そして、注目されることで企業の方から寄付の話もいただけるようになった
- JICA では、開発途上国で MDGs[※]を達成するお手伝いをしてきた。「乳児死亡率を下げる」など、日々の仕事の物差しであった。そして、SDGs になり、先進国も取り組む必要が出てきた。MDGs の途上国での経験を、今度は、日本や先進国の皆さんにも共有していく役割が JICA にあると認識している

※MDGs（Millennium Development Goals）

視点の提供

- 沖縄県で SDGs の目標を達成するためには、県民に広く知ってもらうこと、県民一人ひとりができることを行っていく必要がある
- 沖縄の土壌汚染地図を作ることは、他の国々との共通点を見出す手がかりになると思う
- 土壌汚染の除染作業は、本土の大手ゼネコンにビジネスチャンスと捉えられている。しかし、自分たちの土地が汚されているという、他の国々の人たちと共通する想いと共に、沖縄の人たちが除染のスキルを身に付け、国際社会の先頭に立てるのではないかと思う
- 沖縄の人が当たり前だと思っている日常を、SDGs 的にはどうなのかを比較していくと、自分たちの内包しているおかしさに気づくのではないか、他と比較する視点を持つ必要がある
- 沖縄の第 3 次振興計画までは、ハードのインフラを作ることが目標であったが、次の時代では、私たちが何を目標にしていくのかを、県庁に任せるのではなく、官民あげて議論をしていく必要がある。その中から優先順位や数値目標が出てくると思う
- 沖縄は特有の問題が多くあるため、県民や専門家の意見を聞きながら、沖縄独自の SDGs を設定して、解決していく必要がある
- まずは、SDGs の中に記載されている定義を基に、沖縄の数値目標を設定する。沖縄ならではの数値目標を設定するのは難しいが、各市町村規模で他と比較して、数値が悪くても良いと思える事と、頑張らないといけない事を、自分たちで実感して、自分たちで優先順位を決めていく事が大事
- SDGs の普及方法は、数値目標を掲げて具体性を持って取り組む必要がある所と、すでに頑張っている活動が SDGs に繋がることを伝えていく所の 2 つに分けて啓発していくと、皆が参加できると思う
- SDGs を身近なテーマに紐づけながら、皆さんもすでに取り組んでいる事を伝えていく。そこから、もう一歩、何か行えることに繋げていけたらと思う
- 新聞の重要な役割は、隠れている問題を可視化すること。可視化させて SDGs に当てはめ、国際的なスタンダードでみると、「沖縄のここはおかしい」と提示していく必要がある
- 自分たち自身で目標を立てて、自分たちの目標として取り組んでいく、そのシステムができるかどうか重要だと思う

評価の提供

- 沖縄 21 世紀ビジョン（2000～2030 年）の基本理念は「21 世紀に求められる人権尊重と共生の精神を基に、“時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支えあう平和で豊かな「美ら島」おきなわ”を創造する。」であり、SDGs の基本理念「誰一人取り残さない」と重なる所がある
- 沖縄は、客観的な指標では厳しい生活環境にあるのは間違いない。経済的困窮や環境、水質汚濁の問題などを数値目標化して取りくむことや、人権をベースとした問題解決の仕方が求められる
- 多くの企業で社是に地域貢献に関することが記載されている。地域で活動する企業として「何か貢献したい」とのニーズは非常に高まっていると感じる

事例の提供

- JICA では、途上国の現場で沖縄の皆さんがどういう活躍をされているかをご紹介しながら、SDGs に親しみを持ってもらう取り組みをしている
- 沖縄の技術が活躍している例として、うるま市で開発された「チリメーサー（小型焼却炉）」は、インドネシアのバリ島で医療廃棄物の焼却で活躍している。また、沖縄では戦争マラリアなどの経験から公衆衛生が発展したことや、自然由来の防波堤を作る技術など、沖縄で生まれた物が途上国に役に立ち SDGs 達成に貢献している

➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

1) 認知度アップのために

沖縄県内にはすでに先駆的な取り組みがある。これらを SDGs のターゲットを持って評価し、県民が主体性を持ってこの達成に関われるという機運作りを

2) 数値目標を持って

県内の社会課題に対しては、SDGs のターゲットを尺度に可視化させ、放置せずにスケジュールの意識と数値目標を持って県全体で取り組んでいこう

3) 従来施策との整合性

SDGs との親和性も高い沖縄 21 世紀ビジョンや、転換が求められる次期振興計画等にも積極的に SDGs ターゲットを活用し施策のブラッシュアップを

4) ビジネス分野とのマッチングを

SDGs の指標達成に寄与する県内のソリューションは、県外国外でも活用できるチャンスが有ると考え、島嶼地域の知恵や技術を持って外へ展開していこう

■参加者によるサブセッション

だれ一人取り残さない社会を沖縄からつくるために 必要な取り組みとは？

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

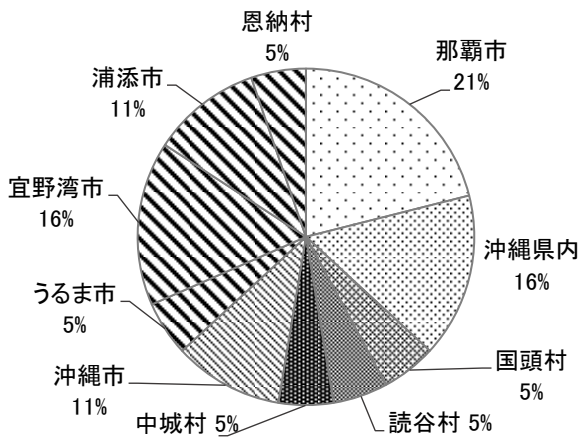
- ① ・前小と JICA の連携で SDGs
・ JICA は学校現場でもっと使ってほしい。
図書館では活用されている。
- ② 市民協働で SDGs がよく出ている
・ SDGs は目標が決まっているので取り組みやすい
・浦添市は総合計画と SDGs を組み合わせるーできたら沖縄初
SDGs を共通語としてもっていくには・・・
世界中で取り組まないといけない
・ゴミ問題、漂流ゴミ、海外のゴミ
港川自治会が取り組んで勉強。港川小も一緒にやっているの、SDGs だよと説明できるとなおい。
・人材育成が地道だけど近道では？ by シャタニ先生
逆に学校は OK、一般市民はわからない→届けるには??
- ③ SDGs まつり
・まつりでゴミにパネルとか分別ブースを作って
- ④ SGG を SDGs 化する (12 月県教育庁)
- ⑤ JICA の空き地もったいない、交流センター、SDGs の県の施設推進
- ⑥ 負の遺産を活かす→イデオロギーを超える
・沖縄の強みを再発見！
・世代別広報
- ⑦ 発信：橋渡し役、つなぐ・人・情報、場所作り。「バディシステム」
- ⑧ ウチナーンチュとしてのアイデンティティの視点
グローバル視点での経済活動のルール作り
- ⑨ ゆいまーる型社会
利己主義→利他主義
- ⑩ みんなが助け合える社会
・有機農業、環境を守るための補助金等
・インクルーシブの取組、多様性を！！
・民間のお悩みの課題解決を！
- ⑪ 補助金や企業の営利メリットが無くても続くようにする
市民レベルでの活動や先行事例を発掘する活動をする
環境負荷の小さい観光、経済活動を考える
- ⑫ SDGs 関心高：教育現場、企業
国際的には「SDGs」の言葉はまだあまり普及していない
- ⑬ だれひとり取り残さない社会
市民の協働-高齢者、自治会、小学校単位
★企業の参加ほしい
★民生と協力ほしい
いろんな取り組みを横断的に連携できれば
芭蕉布（沖縄の伝統技術）も SDGs !
- ⑭ SD (すでに) G (がんばってる) s (さあー) 条例をつくる
フレーズ先行ではなく、すでに沖縄で取り組まれていることをベースに翻訳し直す
・SDGs というフレーズで距離が生まれてしまわないように。前から SDGs にあてはまる事をやっているけど、知らない団体が多くあるのでは？結びつける。
大学の役割 (教員)
・除染を仕事とする発想を国が行うべきという考え
- ⑮ ・数値目標？ 振興審議会 (50%~60%)
・方向性のみ
*学校をまきこむ *パブユメ etc
SDGs の認定校 権利の概念
” 13%認知” →子ども・権利

SDGs 普及推進のための県民円卓会議
参加者アンケート集計

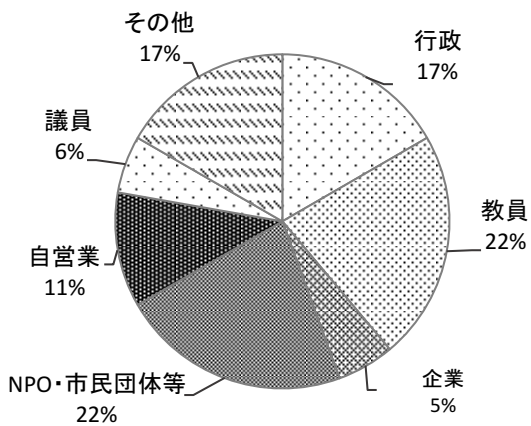
◆概要

- ・日時：2019年9月28日(土) 13:00-15:40
- ・場所：沖縄県立図書館 3F ホール
- ・着席者：8名(論点提供者、司会、記録者含む)
- ・参加者：44名(アンケート回収19名、回収率43%)

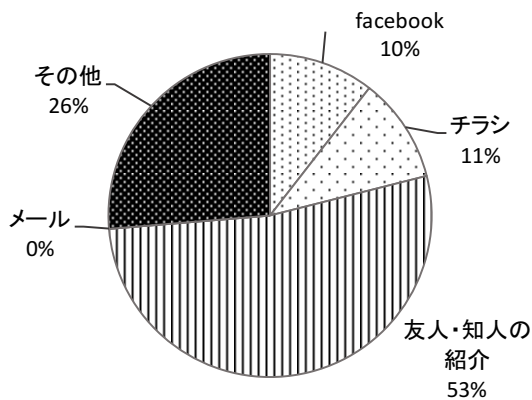
1. どちらから？



2. 所属



3. 円卓会議はどのように知ったか



4. 満足度

平均：4.1 (5点中)

5.満足	4.概ね満足	3.普通	2.あまり満足していない	1.不満足
7名	8名	0名	3名	0名

5. 満足度の理由

(5. 満足)

- ・SDGsを県民の共通語にする取組みを行う
- ・SDGsまつり。沖縄県教育委員会事業、CGG運動でSDGsとコラボする。
- ・行政、マスコミ、JICA、ブレインと多様なパネラーにまずは惹かれました。なかでも、行政がきちんといて下さることに頭が下がります。(おつかれさまです!) 司会の凄さも。論点が多様なのに絞り込みがすごい!
- ・SDGsについて、いろいろ参考になりました。皆さんの意見伺うことができて、ありがとうございました。
- ・SDGsの理解が深まった。幅広さを痛感した。
- ・SDGsを県民の間にどう広めるか?という基本的な課題に提言が出たのが良かった。「ステニガンバツテルサー」=SDGsは印象に残りました。
- ・SDGsとは、①自分をみるための鏡、②自分の行為が何につながっているのか明示するもの。と理解しました。

(4. 概ね満足)

- ・いろんな側面からSDGsを考えられた
- ・方法論と具体的な内容論、そして広報啓発についての議論の今後の方向性
- ・島袋夏子さんの土壌汚染の話で、除染を仕事にするか、国の補償としてやるかの話をした。
- ・補助金や営利メリットのある企業の活動から市民レベルにどのように落とし込んでいくか聞けたらよかった
- ・様々な立場からの議論がされていたから
- ・「誰一人取り残さない」方指は、しっかり考

えて行う取組だと良くわかった。まだ始まりではあるが、ウワベだけの計画でなく、内容を伴う計画にしてもらおうとともに、今動かなければいけない事でもあり、スピード感も必要。

- ・ コーディネーターの投げかけやまとめがすごく良かった。パネリストが各分野の現場を知る専門家であり、また参加者の当事者意識や経験が深い
- ・ 県は（県知事は）責任持ってSDGsを推進してほしいという強い期待がある、それに答えられると思う

（2. あまり満足してない）

- ・ 既知、流行りにのって、以上の、何でこれに取り組むのか、という自分事化が行政の方もできていないんだということが伝わってきた。
- ・ まだ県民にもSDGsが知られていない中で、取組みを話していくのか、現段階では早いような気がする。まずは、SDGsをどのように理解してもらおうかを考えていくべきだと思う。今日の内容では、県民が取り残されそうな感じがした。
- ・ SDGs普及推進のための会なので、ペットボトル水の用意は控えた方が良くかと・・・
- ・ “県民円卓会議”と聞いて、もっと県民の声を反応できる参加型の会議だと期待していたので、話す時間が極端に短かった
- ・ “円卓会議”の着席者が円形に着席するのは理解できるのだが、会場に向かって座る円卓でも良かったのでは？

5. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ SDGsモデルスクールのアイデアはとても良いと思う
- ・ SDGsの達成を最初から”県民一人一人の参加”に期待し過ぎている様に思う→きちんと県がタクトをふって、条例づくりか規制を設け、それらに対する県民の理解を得るために、

認知度を高める、というアプローチが良いと感じた

- ・ 自分事にする 것도大事だけど、国もやるべきこと、市民でやるべきことを示すことも大事だと思った。沖縄の各地域で数字やデータを出して「沖縄版SDGs」も良いと思った。
- ・ すでになんぼってるさー SD G S
- ・ 皆の選択肢を増やす（残す）ことが大切
- ・ 目標の数値化
- ・ 「誰一人取り残さない」とは、どうゆう事なのか、しっかり定義付けが必要
- ・ 世論にどう広げるのかが最優先
- ・ 次期「振計」に入れ込むべきだと思う
- ・ すでに数値目標や政策提言にまで結びつけようという意識が高い
- ・ 「誰ひとり取り残さない社会」が意味する沖縄的SDGs
- ・ SDGsを利活用する（普段自分ごととしてやっていることから行政や企業のレベルまで）
- ・ 基準を設ける、時間軸も考慮した経済アセスメント
- ・ だれ一人取り残さない社会。重度障がいの子が普通高校進学を望んでいるのに進学できない現状を変えてほしい。
- ・ 子どもはあつという間に大きくなる、いまだ！という言葉。
- ・ SDGs すでになんぼってるさーという言葉
- ・ 登壇者の人選もよかった。
- ・ だれ一人取り残さない社会とは、つながっている社会だという発言は納得しました。
- ・ SDGsを共通語

(写真) 会場の様子



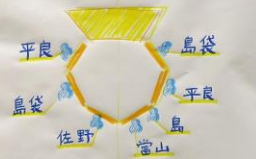
SDGs 普及推進のための 2019. 9. 28 (土) ①

県民円卓会議

13:00~15:40
沖縄県立図書館 3Fホール

地域・団体・社会課題の共有・共有

誰一人取り残さない社会を沖縄からつくるために必要な取り組みとは?



主催 万国津梁会議
設置等支援業務スタートチーム

論点提供 島袋純 ②

SDGsに関わり万国津梁会議 年表

2000~2015 MDGs 上国の問題

先進国を含めた全世界の持続可能な開発目標 SDGs 17の目標 169のターゲット

知事の公約

普及こそが命題!! 県民円卓会議!! 知事への提言書へ反映

3つのD { デプロミン (外資) / デバーンテ (物産) / デモクラシー (R23系) }

誰一人取り残さない

SDGs 17の目標、169のターゲットを達成して

- 自分たちができること!
- 当事者になる
- 普及

沖縄 生きる権利の保つよう きれいな生活環境 具体的な数値的目標が必要 環境・人権 沖縄の独自の解決を!!

平良 ③

県 → 全庁的にして

いじりあたり県民所得 → 全国最低
労働分配率
経済・福祉...

21世紀ビジョン (2000年) ~2030年 30年の構想

SDGs ~2030に向けて

基本理念

- 時代を切り拓き
- 世界と交流
- とれど支えあう
- 平和で
- 豊かな「美し島」おきなわ

5つの将来像

- まずSDGsを知ってもらう 普及啓発
- 全島的な展開 国内認知率16%
- 一人ひとりがSDGsを「自分ごと」として行動する社会
- 市町村との連携
- 様々な団体、企業とのパートナーシップ

島洋子 ④

社会の課題大きい

こどもの食育 3年前で集めた

県民は、わがごととして 考えることが大切

リニア新幹線へ

企業の地域貢献のニーズ高まっている

SDGs 世界的な流れ ので、取りかた企業

毎月3日

色んな活動ある、それはSDGsに位置づけられる、これ紹介 世界的にも価値あるよ

当山香織 恩納村復興企画課

サンゴの村宣言 2018

自環境を守って

SDGs 未来都市に選定 2019 (内閣府) 全国30都市

外から(国)から声かけられた

- 民間のパートナーシップがあった。サンゴの村宣言
- 村民 → 身近なことで価値に気づいていきました。海・自然

注目されたい、キツコいながら、次の世代に繋がる。富泊牧場、も検討

佐野 景子 ⑤

JICA 沖縄 所長

MDGs 開発上国の目標達成のサポートしてきた

日々の仕事の土の土

SDGs 先進国の皆んなも共有していく

自分ごとから自分ごとへ

JICA 沖縄図書資料室にSDGsコーナーを設置

より明確、そのゴールに近づけるか

上国の現場で沖縄の人がどう活躍しているか

沖縄は、沖縄をどう活かして

島 亜熱帯 公衆衛生 貢献することできることたくさんある

島袋 夏子 ⑤

琉球朝日放送 ニュースデスク

- 人間の安全保障
- 社会に貢献する
- 気付きを与えられること
- 当事者になる

土壌汚染 2012 沖縄市 サッカー場のドラム缶

ジンギスカン

世界までおまわっている問題

米軍基地

水と土地を守っていく

除染の仕事 → 内地のゼネコン 大きなネットワークとつながる

SDGsのモニタリング

お屋敷、精神的には支えたい

琉球軍用地で傷ついた人々をどう生かすか

